

2013年APEC首脳宣言(骨子) 「強靱なアジア太平洋, 世界成長のエンジン」

1. 冒頭

- スタンドスティル(新たな保護主義措置の不導入)の2016年末までの延長を始めとする保護主義への対応を再確認し, 2010年横浜ビジョンを踏まえ, 世界成長のエンジンとしてのアジア太平洋における, 経済統合, 貿易・投資の障壁撤廃, 連結性強化を推進。
- FTAAP(アジア太平洋自由貿易圏)を実現するとのコミットメントを再確認。地域貿易協定及び自由貿易協定に関する情報共有等の役割を担う。

2. 多角的貿易体制の支持及びボゴール目標の達成

- 多角的貿易体制と第9回WTO閣僚会議(於バリ)を支持する独立文書を発出。
- 2020年ボゴール目標達成に向けて自由で開かれた貿易・投資の取組の継続をコミット。
- 経済統合の具体的な取組として, APEC 環境物品リストの履行, 地域開発・貧困削減を通じた持続可能なあまねく広がる成長に資する物品貿易の探求, 次世代型の貿易・投資課題等について具体的対応を行う。

3. 連結性の促進

- 物理的, 制度的, 人と人との連結性を加速するとの長期的コミットメントを通じて, 地域の戦略的展望を形成。
- 継ぎ目なくかつ包括的に連結・統合されたアジア太平洋を実現することを熱望。均衡のとれた, 安全かつあまねく広がる成長の加速・推進, 地域の高質な交通ネットワーク等の強化を通じた成長の軸を連結するための青写真を描く。
- 物理的連結性に関して, インフラ開発・投資に関する複数年計画を通じ, 物理的インフラの開発・維持・刷新において協力。この分野における官民協力等を推進するため, APEC専門家アドバイザリー・パネル, 試験的PPP(官民連携)センターをインドネシアに設置。
- 制度的連結性の下, APEC 構造改革新戦略の進展, 良き規制慣行実施の発展・活用・強化, 国境を越えた教育を推進。
- 人と人との連結性に関して, 2020年までに APEC 域内の大学レベルの学生を年間100万人とする目標を承認, 学生, 研究者及び教育機関の移動円滑化, 観光促進, ビジネス円滑化のための渡航円滑化イニシアティブへの取組, 地域の青少年の APEC への関与を促進。

4. 衡平性を伴う持続可能な成長

- 衡平性を伴う持続可能な成長への道筋を維持するためのアジェンダに焦点を当て, 福祉を改善し, 強靱性を高め, 成長を維持し, 格差を減少させる実行可能な解決策の実施にコミット。
- 経済成長への参加に資する能力向上, 関与, 機会提供のため, 女性の経済参画の拡大, 中小企業の国際競争力の向上, 科学・技術・イノベーション協力の促進といった具体的行動を検討。
- 資源不足, 自然・人的災害による深刻な経済的影響に留意し, 2020年に向けた食料安全保障ロードマップの実施, 官民連携を通じたクリーン・再生可能エネルギー開発の取組(例えば「二国間クレジット制度」の活用), 持続可能な保健医療システムの促進, 災害時の支援要員等の移動円滑化への取組等を行う。

5. 将来に向けて

- 1994年のボゴール宣言の目的に資するよう, 地域経済を強靱にし, あまねく広がる成長を追求し, 地域経済を連結させ, 衡平な恩恵の享受を安全で持続的な成長からもたらすための取組を実務者に指示。
- ベトナム(2017年), パプア・ニューギニア(2018年), チリ(2019年), マレーシア(2020年), ニュージーランド(2021年), タイ(2022年)の開催申し出に感謝。
- 2014年APEC(主催国中国)において作業進捗を検証。

(付属書A)APEC 連結性に関する枠組み

(付属書B)APEC インフラ開発・投資に関する複数年計画